

平成 28 年 2 月 16 日	8 時 50 分受理	受付順位	3
		発言順位	5

発 言 通 告 書

藤枝市議会議長 植田 裕明 様

藤枝市議会議員 2 番 平井 登 ㊟

次のとおり通知します。

発言の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 代表質問	<input type="checkbox"/> 一般質問	<input type="checkbox"/> 緊急質問
1. 標 題	『行政組織編成方針』について 答弁を求める者 (市長)		

(要旨・内容)

『第 5 次総合計画後期基本計画』の重点プロジェクトに位置付けられる「ふじえだ健康都市創生総合戦略」の本格的な推進に向け、“機動性と実効性”の高い組織への転換を図られるべく、部局、課、係・担当などについて、直面する課題に柔軟に対応するための行政組織改編方針を示されました。

そこで次の 3 点について伺います。

(1) 総務部内に設置される「危機管理センター」は、名称の如くセンター機能を担う目的と推察しますが、これまでの危機管理課組織のどこを、何を、どのように改編・改善されるのでしょうか？

地震や風水害等、多様な危機事案への機動性・実効性の高い対応を求められるわけですが、とりわけ浜岡原発の再稼働や想定外・想定内に拘わらず起こり得る事故を心配されている多くの市民に対し、どのような機能・役割を目指されるのか伺います。

(2) 本市独自の取り組みをさらに展開する体制づくりのために、都市建設部内に設置されている「中心市街地活性化推進室」ならびに産業振興部内の「中山間地域活性化推進室」を“課”に改編されとのことですが、この両者について、これまでの主だった成果を伺うとともに、今後の重点取り組みを教えてください。

(3) 市民文化部の管轄であります。平成 27 年度より、瀬戸谷・青島北・高洲の「地区行政センター」を「地区交流センター」に、試行中とは言え改組され、さらに 28 年度からは、五十海に新設の藤枝と稲葉・広幡の行政センターを地区交流センターに改組されるとあります。そこで伺いますが、先行して改組された瀬戸谷・青島北・高洲の地区交流センターについて、現時点における成果（メリット）と課題をお答えください。

2. 標 題

『職員定員管理方針』について

答弁を求める者 (市長)

(要旨・内容)

お示しになられた平成 28 年度からの『定員適正化計画』の方針では、「優秀な人財の採用、人財の育成や効率的・効果的な人員配置、再任用制度の活用等により、行財政運営の効率化を図るとともに、真に求められる事業には人財をきちんと配置し、職員が持てる力を発揮できる体制を整備する」と謳われています。これまで過去 5 年ごとに見直されてきた『藤枝市定員適正化計画』の遂行により、10 年間で 128 人を削減されて来られました。(人数には病院、消防部門、再任用職員は含まれておりません)

10 年前においては、847 人であった職員数を漸次削減され平成 28 年 4 月 1 日においては、本年度よりさらに 1 人削減の 718 人を予定されています。そこで次の 4 点について伺います。

(1) これまで 10 年間の職員削減による財政効果は、削減しなかった場合と比較すると累計でいくらになるか、大よその金額で教えてください。

(2) 特に削減数が顕著な部局はどこだったのでしょうか。臨時雇用、非正規雇用、業務委託等により行政サービスが滞ることのないよう図られて来たとは思いますが、正規雇用者の削減数を基にお答えください。

(3) これまでの正規職員削減による行政サービス面、行政運営面における支障や市民からのクレームはなかったのか、伺います。

(4) 本年度は、『第 5 次総合計画後期基本計画』を最上位として、さまざまな中位計画、下位計画が見直されたり改正されたりしています。さらにまた、国の最重要政策“地方創生”に呼応した『ふじえだ健康都市創生総合戦略』が新たに上位計画として組み込まれて来ました。これら多種多様な計画は、いずれも本市の経済発展や福祉の向上、環境改善等のために重要な計画であり、スピード感をもって具体の施策に取り組んでいかなければなりません。それぞれの計画書における事業対象は、市民であり、地域であり、集いの場であり、土地であります。つまり本市全域に限らず関わっているのです。そのため職員は、現場に出向き、見て、聞いて、話して、理解し合うことが求められるものばかりであります。計画の遂行にあたっては、P D C A サイクルに順って進められますが、一つひとつの事柄に丁寧に対処していかなければなりません。短期、中期、長期と系統付けたところで、業務量が減るわけではありません。計画は山積みされている一方で、今般の「職員定員管理方針」と「藤枝市新公共経営実行計画」をバイブルに、重要計画が工程どおりに遂行され、目的が果たせていけるのでしょうか。職員数の適正化について、あらためて市長のお考えを伺います。

3. 標 題

『中山間地域エリア拠点づくりの推進』について
答弁を求める者 (市長)

(要旨・内容)

『ふじえだ健康都市創生総合戦略』の4つの基本方針の1番目に位置付けられている「コンパクト+ネットワークで創る健康都市」の中の具体の施策「中山間地域エリア拠点づくりの推進」について、3点伺います。

(1) 中山間地域からの若者、特に子育て世代の流出を防ぎ地域に定住していただく、あるいは都市部から当該地に移住を希望する人々の受け皿となる宅地造成の可能性を高める「優良田園住宅建設促進に関する基本方針の策定」が計画されております。本事業は、平成27年度後半にスタートされた「宅地供給の可能性調査」が前工程となるわけですが、現在の可能性調査の進捗と対象4地区(瀬戸谷・稲葉・葉梨・朝比奈)住民とのワークショップにおける反応や意向など、どのような状況か伺います。

(2) 今後の全体計画フローとして、どのような手順や国、県との調整が必要になってくるのか伺います。

(3) 本事業の実現においては、候補地の地権者はじめ宅地開発事業者との連携が重要になってまいります。今後どのように計画推進の交渉や情報提供および個別の相談対応等をされていくのか伺います。

(※ 内容は詳細に記入してください。)

4 . 標 題

『地域公共交通網形成計画の策定』について

答弁を求める者 (市長)

(要旨・内容)

「コンパクト＋ネットワークで創る健康都市」の政策推進を図るため、都市政策課内に「公共交通政策室」を新たに設置され、生活利便性の高い地域公共交通ネットワークの構築を推進すると示されております。その一環として重要な取り組みとなる「地域公共交通網形成計画の策定」について伺います。

本計画は、平成 28 年度から 29 年度にかけて策定が予定されています。その狙いは、「まちづくりと一体となった新たな地域公共交通網の形成」となっており、現行の『藤枝市地域公共交通総合連携計画』における問題点・課題点を検証したうえでの計画立案および策定になるかと思いますが、次の 2 点についてお答えください。

(1) 計画策定に当たってポイントとなる論点は何か。着目される視点、あるいは配慮しなければならない視点を伺います。

(2) 計画策定委員（藤枝市地域交通会議）の構成メンバーは、どのような方々を予定されているのか伺います。

(※ 内容は詳細に記入してください。)

5. 標 題	『攻めの農業の推進』について 答弁を求める者 (市長)
<p>(要旨・内容)</p> <p>『ふじえだ健康都市創生総合戦略』の4つの基本方針の2番目に位置付けられている「産業としごとを創る健康都市」の中の「攻めの農業の推進」について伺います。これは環太平洋パートナーシップ (T P P) 協定を本市農業再振興の好機と捉えられ、積極的な予算を計上されたことを高く評価したいと思いますが、次の2点の事業について伺います。</p> <p>(1) 「攻めの農業の推進」の具体の施策「産地パワーアップ事業への助成」について伺います。</p> <p>本事業は「総合的なT P P 関連政策大綱」に即し、農水省が昨年12月の補正予算で創設したものです。</p> <p>内容は、水田・畑作・野菜・果樹等の産地が創意工夫を活かし、平場、中山間地域等、それぞれの地域の強みを活かしたイノベーションを促進することにより、効率的で高収益な作物栽培体系への転換を図る取り組みに必要な施設整備や改植等を補助率1 / 2以内で支援する、というものです。これを受け本市では、1億2千8百万円強の予算を計上されておりますが、支援対象となる農業者、農業者団体の見込みはどの程度あるのか。また、要件となる「地域農業再生協議会」等が作成しなければならない計画書の作成をどのようにフォローされていくのか、ご説明ください。</p> <p>(2) 「攻めの農業の推進」の具体の施策「強い農業づくり事業費」について、その背景をお話ししたうえで伺います。</p> <p>本市の基幹産業である茶業は、長引く茶価の低迷と担い手不足、それによる生産量の減少や茶園の荒廃、荒茶生産協同組合の相次ぐ解散など、もうこれ以上後がない深刻な状況下にあります。そんな中、独自の経営戦略と生産・販売戦略により高い実績を上げている若手の茶経営者と、それを支える生産者、農協、輸出業者、製造ラインメーカー等が一丸となって取り組む事業に対し、農水省の「強い農業づくり交付金」(事業実施主体へは事業費の1 / 2以内の補助率)を活用するものであります。</p> <p>緑茶、碾茶産地としての競争力を強化するとともにT P Pを視野に入れ、生産性の向上、高付加価値化、低コスト化等为目标とした生産・加工のための製茶工場施設等の整備に対し支援されるものと理解しておりますが、このプロジェクトへの期待と支援について、市長のご見解をお聞かせください。</p>	

(※ 内容は詳細に記入してください。)